

# 講座Ⅰ 「学校では教えてくれない石見の○○の世界」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
1	<b>志田尾 隆司</b> <small>(TSデザイン/有限会社志田尾工務店 代表取締役)</small>	<b>学校では教えてくれない住まいづくりの世界</b> ～いい家ってどんなの？日本・石見の風土に合った家とは～ いい家の条件ってなんだと思いますか？私の考える条件は、「健康に快適に安心して暮らせる長寿命の家」がいい家の条件だと考えます。そのためには、どんな材料や工法で家を建てた方がいいのか？なぜ、海外に比べて日本の家の寿命は短いのか？なぜ、住む家によって、健康を害することもあるのか？そういった、住宅業界の裏事情もお話できればと思います。	6月1日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
2	<b>安藤 正文</b> <small>(安養堂鍼灸院 院長)</small>	<b>健康の維持・増進のために～東洋医学の歴史を振り返りながら～</b> 私は現在、東洋医学の鍼灸師として、また僧侶として跣足の草鞋を履いた道を歩んでいます。鹿伏殿釈や東洋医学の禁止など、日本文化が失われていく政策が次々とおこなわれた明治維新。その理由と背景を振り返りながら、鍼灸の歴史・効果・可能性、私のこれまでの歩みや石見地域での取り組みについてお話します。また、痛みの原因や簡単な対処法などもご紹介いたします。	6月22日(水) 18:15～19:45	
3	<b>平野 義弘</b> <small>(有限会社平野屋 代表取締役)</small>	<b>「もてなし」の心から～お茶を楽しもう～</b> 日本の文化の一つに「茶道の心」が世界からも注目されています。しかし、日本人で釜からお湯を掬いお茶を点てる方は少ないのでは？そこで、お茶の歴史や効能・飲み方から「もてなし」の心などもお話し、実際にお抹茶を点てていただく実践講座となっています。	10月19日(水) 18:15～19:45	
4	<b>陳 幼竹</b> <small>(島根県立大学北東アジア地域研究センター非常勤研究員)</small>	<b>漢方医学の薬膳理論から見る浜田の地元食材</b> 本講座は、身近な食材を漢方医学の薬膳理論から考察し、季節の健康料理を検討する。広い意味において、すべての食材は漢方薬または生薬といえる。本講座では、とくに季節の変化に合わせて、体質と食材の関係を分析し、「食養」として健康に良い料理を薦め、また「食忌」として場合によって注意すべき食材について話したい。	10月26日(水) 18:15～19:45	
5	<b>松尾 恵美</b> <small>(有限会社ホテル松尾 女将)</small>	<b>石見で宿泊業を続けていくことへの想い</b> 「お帰らなさい。なつかしの国石見へ」一地方の一宿泊施設として昔ながらの日本の旅館のおもてなしの心に学び乍ら、このキャッチフレーズと共に石見を発信し続けている日々。島根県西部は東部と比べて観光の素材も少なく、その差は歴然としている。然しながら、限りある素材を最大限に活かす、地域が力を合わせて観光立国日本に向け、その一端を担っていく想いを語ります。	11月30日(水) 18:15～19:45	

# 講座Ⅱ 「心のふるさと石見を想う～若者たちの熱いキモチ～」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
6	<b>西田 勝</b> <small>(西田和紙工房)</small>	<b>石州和紙の歴史と新たな取り組みについて</b> 1989年に伝統的工芸品の指定を受け、ユネスコの無形文化遺産にも登録された石州半紙。石見(石州)地方では約1300年もの間、手すき和紙が漉き続けられ守られてきました。私の実家でもある西田和紙工房も数百年前から代々石州和紙を漉き続けています。そこに生まれた私が家業を継いで石見の地で働こうと思った理由なども合わせて、先人たちから引き継がれた技術・技法を含めた石州和紙の歴史をお伝えするとともに、当工房で抄造している和紙の用途や異業種の職人間で組織した新たな取り組みについて、お話します。	7月20日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
7	<b>田畑 卓郎</b> <small>(NPO法人浜田ライフセービングクラブ)</small>	<b>浜田の海の魅力</b> 19歳でライフセービングと出会い沖縄など県外での生活を経験し、7年前にUターン。そのきっかけとなったライフセービング、海資源を生かした藻塩製造など今までの取り組み、また浜田の海を守り次世代へ繋げるための活動など、浜田の海資源について考えてみたいと思います。	11月1日(火) 18:15～19:45	
8	<b>尾田 洋平</b> <small>(株式会社リクルートライフスタイル)</small>	<b>島根出身の私が</b> 1986年島根県浜田市に生まれ、高校卒業まで浜田で育つ。その後群馬→大阪→東京→長崎→鳥取→広島とわたり歩くなかで、島根県への愛と自分の実力不足を感じる。現在、島根には住んではないが島根の外から島根に対し何ができるのかを考えて行動中。そんな私がなぜ島根県への愛に気づき、どのような事を行っているのかをお話できればと思います。よろしくお願いたします。	12月14日(水) 18:15～19:45	

# 講座Ⅲ 「浜田キャンパス国際ターミナル～優先搭乗のご案内～」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
9	<b>キンバリー・モーガン</b> <small>(浜田市国際交流員)</small>	<b>イギリスを旅する</b> 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	5月11日(水) 10:20～11:50	講義・研究棟「中講義室3」
10	<b>ナタリア・ボルホドーエフ</b> <small>(国際交流員)</small>	<b>私の知っているロシア巡り</b> 世界で最も広いロシアにはおよそ 180の民族が住んでいます。住んでいる地域、文化、言語、食物は多様に富んでいて、それぞれの特徴や魅力があります。この講座ではロシアのイルクーツク州とブリヤート共和国の間にある、世界一深くて透明度の高いバイカル湖の話や、遊牧生活も送り続けているトゥヴァ共和国の人々の話を含め、これら三つの地域を中心にロシアの地理、気候、人柄、習慣などの一般情報についてお伝えします。	5月18日(水) 13:15～14:45	
11	<b>マニング・クレイグ</b> <small>(浜田キャンパス教員)</small> <b>森谷 浩士</b> <small>(島根県立大学嘱託助手)</small>	<b>人とつながる英会話術</b> 旅行先や訪問先で知り合った人と積極的に英語で会話できるようになるための講座です。初級者から簡単なことなら話せるという人までを対象に、場面や話題を意識しながら英会話を体験します。日本人と英語母語話者の二人の講師が担当するので、実用的な英会話を無理なく学べます。(本講座は講義ではないため、参加者には英語の使用が求められます。)	7月13日(水) 18:15～19:45	メディアセンター1階「多目的演習室」
12	<b>ニュン・ゲン・ティー・ゴク</b> <small>(浜田市国際交流員)</small>	<b>ベトナムを旅する</b> 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	8月3日(水) 10:20～11:50	講義・研究棟「中講義室3」
13	<b>中国の国際交流員</b> <small>(浜田市国際交流員)</small>	<b>中国を旅する</b> 国際交流員の方を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ！」というスポット、また、母国の文化・歴史・地理などの分野の中から、普段は聞くことのできない各国の魅力を皆さまにご紹介いたします。	9月28日(水) 10:20～11:50	
14	<b>森谷 浩士</b> <small>(島根県立大学嘱託助手)</small>	<b>英会話に活かす日本語学入門</b> 英語学習の過程で“America is afraid of drugs”のような間違った英語を使ってしまうことがあります。このような間違いは、頭に浮かんだ日本語を直訳してしまうことから起こると考えられます。この講座では、どうしてこのような間違いが起こるのか、日本語の仕組みと英語の仕組みの違いを理解して、英会話に活かすことを目指します。	10月12日(水) 18:15～19:45	

# 講座Ⅳ 「石見の経営革新者」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
15	<b>松永 和平</b> <small>(株式会社松永牧場 代表取締役社長)</small>	<b>松永牧場のあゆみ：消費者への信頼と循環型農業への取り組み</b> 平成25年11月より株式会社へ組織変更し新たなスタートを切った松永牧場。これまでもJAS 認証取得「牛のパスポート」制度の開始や、自社内で堆肥化処理をする循環型農業への取り組みもはじまっています。常に消費者への安心・安全を心掛けてきた松永牧場のこれまでのあゆみについてお話しさせていただきます。	5月18日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟「大講義室1」
16	<b>亀谷 典生</b> <small>(亀谷産業有限会社 代表取締役社長)</small>	<b>石州瓦の新たな挑戦：亀谷窯業200年の伝統製法へのこだわり</b> 石州瓦の高い耐久性を活かした海外寒冷地への販路拡大、またザ・リッツ・カールトン東京の飲食店内装に壁瓦が使用されるなど、業界外からも注目されはじめています。創立210年の老舗企業9代目より、伝統製法を守り抜くことで生まれる石州瓦の新たな価値創造への取り組みについてお話しさせていただきます。	6月15日(水) 18:15～19:45	
17	<b>領家 康元</b> <small>(株式会社キヌヤ 代表取締役社長)</small>	<b>キヌヤについて：ローカルブランドの取り組み</b> 県西部を中心に 22店舗のスーパ－を展開中のキヌヤでは、地元産品(生鮮・加工品等)を「ローカルブランド(LB)」と位置付け、生産者と連携し地産地消の推進に取り組んでいます。代表取締役の領家社長がこれまでに振り返りながら、地域とともに歩んできた会社経営への思いと、キヌヤの「今」についてお話しします。	7月6日(水) 18:15～19:45	

# 講座Ⅴ 「聴いて得する！大学教員の“ちょっとココだけ”の話」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
18	<b>久保田 典男</b>	<b>顧客ニーズの捉え方～フレッシュマン・フィールド・セミナーの取組から～</b> 企業が売上高を増加させるためには、顧客ニーズを的確に捉えようとして商品やサービスを提供することが求められます。本講座では島根県を代表する企業を実際に分析した大学1年生向け必修科目「フレッシュマン・フィールド・セミナー」で実施した一般消費者向けのアンケート調査の内容を説明しつつ、顧客ニーズを捉える手法を紹介します。	5月11日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
19	<b>岡本 寛 佐藤 壮</b>	<b>立憲主義と安全保障 (1) 憲法編 (2) 国際政治編</b> 近代国家の特質は、強大な政治権力の集中(集権化と強大化)にあります。だとすれば、国家は国民を力で圧倒できるはずですが、むしろ自らそれを抑制し(立憲的制約といえます)、国民の「自由」を法的に保障してきました。同時に、近代国家が成立して以降、国民に対して「安全」保証を提供することが国家の存在理由となりました。つまり、立憲主義と安全保障は、国家のありようを考える上で極めて重要な 2大テーマなのです。では、これまで、立憲主義と安全保障は学術的にどのように把握されてきたのでしょうか。また現代日本において、両者の関係はどうあるべきでしょうか。憲法学と安全保障論を専攻する本学教員が、これらの論点を市民の視点・生活者の目線で考えていきます。	(1)憲法編 5月25日(水) 17:45～19:45 (2)国際政治編 6月8日(水) 17:45～19:45	
20		<b>村井 洋</b>	<b>H. アーレントとアメリカ</b> ドイツに生まれ、ヒトラー政権の成立と共にフランスへ次いでアメリカへ亡命し、アメリカを活動の場にしたハンナ・アーレント。彼女がアメリカから得たものは何でしょうか、そしてアメリカに向かって訴えたかったことは・・・。友人たち、伝統、大衆文化、革命と憲法、共和国の危機などをトピックスにお話しします。	6月29日(水) 18:15～19:45
21	<b>哲学カフェ しまね ～働くこととは？～</b> 「日常生活のなかで意識して考えることが少ないことを改めて問うこと」、それが哲学の始まりでもあります。全国各地で開催されている「哲学カフェ」を浜田キャンパスで開催します。今回、「働くこととは何か?」について、受講者の皆さんと意見交換を交えながら、共に探求していきます。		8月3日(水) 18:15～19:45	
22	<b>ケイン・エレナ・アン</b>	<b>ビアトリクス・ポッターからハリーポッターのイギリスの児童文学：内容語学言語のアプローチで読む</b> 本講座は簡単な英語でおこないます。イギリスの有名な児童文学作家を紹介し、よく知られているシーンを一緒に読んで、映像や写真などを使用してながら理解を深めましょう。ビアトリクス・ポッターの作品、ハリーポッター、ナルニア物語などを紹介します。英和辞書を持ってきてください。高校1年生ぐらいの英語力で楽しめます。必要に応じて、日本語も付け加えます。	9月28日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
23	<b>張 忠任</b>	<b>経済減速期に入る中国の経済情勢</b> 平成22年には中国の GDP総額は日本を超えたと同時に経済のバブル化が深刻化している。平成24年より中国の経済減速が始まって、平成27年には実質成長率はさらに 7% を割れ、株価は5,100元台から2,600元台へと下落している。本報告は、このような「新常态」を考察し、今年の「供給側改革」を中心に、日中経済関係を含め、中国の経済情勢を検討する。	10月5日(水) 18:15～19:45	
24	<b>マニング・クレイグ</b>	<b>実地研究とサービス・ラーニングの学生活動</b> この講座では、ボランティアプロジェクトが島根県立大学で学ぶ能力を向上させるためにどのように使われているかを紹介します。マニングゼミの生徒たちが行った様々なボランティアプロジェクトを発表し、そのプロジェクトから学んだことを共有します。ぜひこの講座を楽しんでください。	11月8日(火) 18:15～19:45	メディアセンター2階「多目的演習室」
25	<b>木村 秀史</b>	<b>ゼロからわかるアベノミクス入門～どーなる日本経済!～</b> この講座では、経済が苦手な方や経済学の初心者を対象に、アベノミクスの目玉政策である「日本銀行の異次元金融緩和と政策」について基礎の基礎から学びます。アベノミクスは日本経済にとって何か良いことをやっているし、確かに良くなってきている気がする・・・でもそれが何なのか良く分からない。そんな素朴な疑問にお答えします。	11月9日(水) 18:15～19:45	
26	<b>西藤 真一</b>	<b>地域課題と住民参画：地域の空港を活かすために私たちができること</b> 石見空港の利用者数は、ここ数年、にわか増加しています。しかし、わが国の地方空港路線の旅客数は、総じて減少傾向にあります。また、石見地域の今後の人口動態を考慮すると、将来は非常に厳しいと言わざるを得ない面があります。都市部への数少ない高速交通手段を守るにあたって、私たちに何ができるのでしょうか。いくつかの事例を通して考えてみたいと思います。	11月16日(水) 17:45～19:45	講義・研究棟「中講義室3」
27	<b>松田 善臣</b>	<b>地域課題と住民参画：生活の「足」を守るために私たちができること</b> バス利用者の減少により、私たちの生活の「足」を担っていたバス路線は、減便や廃止を余儀なくされています。もはやクルマを運転できない人にとっては、日常の生活を送ることも困難な状況になりつつあります。こうした状況を改善するために、私たちに何ができるのでしょうか。いくつかの事例を通して考えてみたいと思います。	12月7日(水) 18:15～19:45	
28	<b>李 憲</b>	<b>夫婦間の法律問題について考えてみよう</b> 「法は家庭に入らず」という法格言が表すように、夫婦間の問題はあくまで当事者の自治的解決に委ねるべきであるというのが昔からの考え方です。しかし、夫婦間の情報量・交渉力に一定の格差がある中、その自治的解決は屢々弱い者の泣き寝入りをもたらしています。本講座では、夫婦間の様々な紛争について、判例を取り上げながら解説します。	12月21日(水) 18:15～19:45	メディアセンター1階「多目的演習室」
29	<b>村井 洋</b>	<b>幸福論はいかが？</b> 幸福論が流行しています。人生の「半ば」自らの人生を振り返って幸せと言えるのか、私たちの社会は幸福を分かち合っているのか、という自省が静かに広がっているようです。この講座では、幸福とは何か、幸福は人生の「目的」なのか、をカントや B. ラッセルなど著名な幸福論を取り上げながら考えたいと思います。	12月21日(水) 18:15～19:45	